



Report 3 夏の帝釈峡の魅力を満喫 帝釈峡ウォーク

国定公園帝釈峡を散策する「帝釈峡ウォーク」が、7月14日に開催されました。

誰でも気軽に参加できる「かわせみコース（全長約5*o）」と、神龍湖トレイルセンターをスタートしてまほろばの里まで歩く健脚向けの「はんざきコース（約9*o）」が用意され、広島市や福山市をはじめ市内外から約300人が参加しました。

かわせみコースでは、植物や岩の由来などを紹介するボランティアガイドが参加者を案内し、雄橋にある給水所では、東城高校「東城応援隊」のメンバーがお茶を振る舞いました。

午後からは、東城中学校吹奏楽部の演奏を聞きながら、川魚の塩焼きや山菜おこわ、トマトとキュウリの丸かじりなど地元の味を楽しみ、帝釈峡の魅力を満喫した一日となりました。



▲ボランティアガイドから雄橋の説明を受ける参加者

Report 4 上位入賞を目指し操法訓練本格化 比和方面隊が広島県ポンプ操法競技大会出場へ

庄原市の代表として広島県ポンプ操法競技大会へ出場する庄原市消防団比和方面隊第2分団第2部の選手が、9月7日に行われる大会本番へ向け、本格的な訓練



▲熱を帯びる訓練

に取り組んでいます。

ポンプ操法は、火災現場での基本的な動作、器具操作、そして正確な放水技術を身に付けるために行われる消防団の訓練の一つで、大会では一連の動作の速さと正確性を競います。

比和方面隊は昨年夏に行われた庄原予選大会で優勝し、今回の県大会へ駒を進めました。訓練は今年の3月に開始され、厳しい訓練を重ね、操法技術に磨きをかけています。

訓練を指揮する梅津孝晴比和方面隊長は「選手をはじめ、団員の頑張り大会本番で実を結んでほしい。この大会を通して、より一層強固な消防体制を築き、地域へ貢献していきたい」と語り、大会での活躍へ決意を新たにしていました。

Report 5 かわいい幼虫をじっくり観察 総領小がオオムラサキ観察会

総領小学校3年生11人が7月2日、8年前からオオムラサキの保護繁殖に取り組んでいる総領町黒目の和田賢壯さん宅を訪れ、オオムラサキを観察しました。

児童はまず、和田さんからオオムラサキの成長の過程や繁殖の難しさなどの説明を聞き、その後ハウスの中でオオムラサキを観察。成虫のオオムラサキはあまり見られませんが、小さな幼虫を観察しながら、「かわいい」「家で飼いたい」とスケッチする児童もいました。

和田さんは「今年は幼虫が900匹も生まれたため、餌となるエノキが不足した。そのため、羽化が20日ほど遅れたが、子どもたちが幼虫でもよく観察していて感心した」と話していました。



▲和田さんの説明を聞く児童

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1 本市出身の坂口直樹さんが三楽荘で個展開く 書家・詩人 坂口直樹書画創造展「楽」



▲大筆書道パフォーマンスに固唾を飲む観客

7月5日から15日までの11日間、本村町出身の書家・詩人、坂口直樹さんの書画創造展が、庄原市三楽荘で開催されました。

本館と離れに約80点の作品が展示され、期間中の土日には自由に書が楽しめる教室や大筆書道パフォーマンス、手巻きオルゴールや津軽三味線、二胡などのミニコンサートもあり、東京や徳島など遠方からの方を含め、延べ1,500人が来場しました。

坂口さんは「故郷で個展を開くことができとても感謝している。三楽荘がまちづくりの拠点となり、たくさんの方々を訪れ、地域の活性化につながるよう応援させていただきたい」と話していました。

Report 2 「住宅デー」で修繕ボランティア 広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動

広島県建設労働組合第12地域連合庄原の52人が6月22日から30日にかけて、市内の保育所・子育て支援センター・中学校・小学校・一人暮らしの高齢者宅を訪問し、施設などを修繕する技術奉仕活動を行いました。

12人の組合員が訪れた山内保育所では、所内の建具の調整や、各保育室用に木製の掃除道具入れを製作。園児たちは、組合員の手際よい仕事ぶりを見入っていました。

山内保育所の妹尾文恵所長は「閉まりにくかった戸が閉まるようになるなど、状態の悪かった部分を直していただけて大変ありがたい」と喜んでいました。

この奉仕活動は、全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、全国各地の建設労働組合が毎年行っています。



▲山内保育所で修繕作業する建労組合員の皆さん



Report 9 贈り物に笑顔あふれる 第2回レガロフェスタin水夢

催し物を通して贈り物を届けることをテーマに、「第2回レガロフェスタin水夢」が6月23日、西城温水プール『水夢』で行われました。

温水プール内ではアクアエクササイズやベブースイ



▲笑顔でジャンプ！（ベブースイミング）

ミング、県立広島大学庄原キャンパス水泳部による水中パフォーマンスなどが行われ、野菜のレシピや健康の知識についての展示コーナーの設置、骨盤体操体験なども行われました。

ベブースイミングでは4組の親子が参加し、フジタドルフィンクラブM I Y O S H I の中間祐子さんの指導を受けながら、楽しくスイミング。最初は怖がっていた子どもも次第に慣れ、終わりごろには笑顔でしゃいでいました。

今回始めて参加した山本陽子さん（西城町）は「水夢はよく利用するが、先生に教わりながらだと違った雰囲気でも楽しめた」と話していました。

プール横の芝生の広場では各種バザーが開かれ、西城産の食材を使用したネギ味噌豚丼や野菜ジュース、西城産手打ちそばなどが並びました。ヒバゴンTシャツやひろしま牛、カーブグッズなどが当たるお楽しみ抽選会もあり、来場者はたくさんの贈り物を受け取り笑顔があふれていました。

Report 10 清掃活動で地域への愛着を 庄原青年会議所主催の清掃ボランティア

社団法人庄原青年会議所が主催する「しょうばら清掃活動～美しく豊かなまちづくり～」が7月7日に行われ、庄原地域の中学・高校、自治振興区など10団体、一般参加を含め158人が参加しました。

参加者は9つのグループに分かれ、国営備北丘陵公園周辺やジョイフル、田園文化センターなど市内中心部、県立広島大学から国道183号線にかけての道路や水路など7区間、約16.5キロに渡ってゴミを拾って回りました。

また、県大通りから丘陵公園入り口周辺までの市道のガードレール2.4キロを、スポンジや洗浄機などを使って汚れを落とし、備北オートビレッジ入口周辺の



▲ガードレールを丁寧に磨く参加者



▲みんなで楽しくペイント

ガードレール約60メートルには、市の花である「桜」をモチーフにみんなでペイントしました。

庄原青年会議所の齊森大助理事長は「地域の皆さん、中高生の生徒の皆さんとともに一体感ある清掃活動ができた。この活動を通して、環境整備に対する意識を高めてもらい、ふるさとへの愛着につながってくればうれしい」と話していました。

Report 6 自分の思いを英語で披露 第9回中学生による英語スピーチ大会

庄原ロータリークラブ、しょうばら国際交流協会、市教育委員会の3者共催による「第9回中学生による英語スピーチ大会」が6月16日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

市内7中学校から10人の中学生が参加し、これまでの経験で学んだこと、家族や地域への思い、感じたことなどを英語でスピーチ。家族や教諭などに見守られる中、それぞれ自分の思いを堂々と発表しました。

市内の学校に勤務する外国語指導助手による審査が行われ、3人の生徒に優秀賞が贈られました。

- 優秀賞 加島菜々子さん（高野中3年）
- 森川 佳奈さん（東城中3年）
- 瀬尾 稜那さん（東城中3年）



▲全員で記念撮影

Report 7 音楽を通じ世界平和へのメッセージ ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトコンサート



▲広島交響楽団四重奏

「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトコンサート」が6月30日、東城文化ホールで開催されました。

このコンサートは、音楽を通じて世界平和のメッセージを広島から全国に発信し、平和の心とつながりが生まれるきっかけをつくるため、県内各地で開催されるリレーコンサートです。

第1部はヴァイオリン吉田美里さん・ピアノ新宅雅和さんによるアンサンブルが、第2部は広島交響楽団四重奏コンサートが行われ、300人を超える聴衆が会場に詰め掛けました。

クラシックの名曲からおなじみの曲まで全18曲が演奏され、来場者はプロの演奏と生の迫力に酔いしれました。

Report 8 連携してまちなかをきれいに 高野小・中の児童生徒がクリーン大作戦

高野小学校の児童92人と、高野中学校の生徒47人が7月12日、町内にある施設周辺の清掃活動をする「クリーン大作戦」に取り組みました。

この取り組みは、両校の交流と地域貢献を目的に初めて実施されました。

児童生徒は、上高自治振興センター、高野福祉保健センター、市役所高野支所の3カ所に分かれ、施設周辺の草取りや、溝そうじなどを約1時間かけて行いました。

高野中学校の清永尚子校長は「地域に貢献する活動を通して、社会参加の意欲や高野を愛する心を育ててほしい」と話していました。

▶歩道の草取りをする高野小・中の児童生徒

